■ NPO法人 大学図書館支援機構 】

IAAL

Institute for Assistance of Academic Libraries

ニュースレター

アイアールニュースレター

【特集】

¹ 2010 秋季 IAAL認定試験

MAR. 2011 No.8

3・11以後の大学図書館の新た

成23年東北地方太平洋沖地震」は、地震と津波、それに原子力発電所事故により生活や経済に甚大な被害を及ぼしています。図書館も例外ではありません。津波により失われてしまった公立図書館があり、建物に被害を受けた図書館も数多くありました。この度、被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

図書館では地震により書架からの本の落下が相次ぎました。国立国会図書館では,120万冊が落下したと報じられました。

これまでは、建物への被害がなければ、落 下図書を戻すなど館内を整頓すれば、比較的、 短い間で開館することが可能でした。ところが、 今回は、電力受給の逼迫により、これまでと 異なる事態となりました。

現在、大学図書館のサービスの多くはネットワークを通じて提供され、図書館業務のほとんどは、図書館システムを用いて行われています。電力がなければ、サーバーもパソコンも動かず、業務を行うことができない事態となります。これは一般の事業所でも同じですが、大学図書館には、共同分担目録作成、ILL、電子ジャーナルやデータベースの提供、機関リポジトリ、電子図書館機能など特有の機能があり、これらはネットワークに強く依存しています。

東京電力管内では、日中に輪番制で停電となる計画停電が実施されました。例えば、本機構とかかわりの深い国立情報学研究所の

NACSIS-CATは、サーバーが千葉県内に置かれていたために、計画停電実施後しばらくは運用ができなくなり、全国の図書館の目録作成が滞りました。NACSIS-ILLも同様です。また、計画停電と節電のために、長期にわたる休館を選択する大学図書館も見られました。

一方、電子ジャーナルについては、その提供が困難な図書館もありましたが、かなりアクセスが確保されていました。利用者が図書館に来館せずに電子ジャーナルとデータベースのみを利用する場合には、長期休館による影響は小さかったと考えられます。

また、外部委託の行われている図書館では、 大学全体の休業、あるいは図書館休館時にお ける非正規の職員への対処に苦慮する例もみ られました。

東日本の大学図書館には、それぞれの大学の意向、節電、計画停電、利用者ニーズなどを考慮し、提供するサービスを独自に判断する能力が求められています。横並びのマネージメントでは対応できなくなっています。

また,大学の授業のない期間には,図書館は学習支援機能を強化しなければなりません。

災害が引き起こした事態は、現在の大学図書館の置かれた状況を浮き彫りにし、日頃は隠れている問題を顕在化させたと言えます。

大学図書館支援機構は,今回,明らかになった様々な大学図書館の問題に取り組んでまいりたいと考えます。

NPO法人 大学図書館支援機構

IAAL大学図書館業務 実務能力認定試験

「総合目録 - 図書中級」第1回、「総合目録 - 雑誌初級」第2回 実施報告

日時 2010年11月7日(日) 図書中級14:00-15:30(90分), 雑誌初級14:00-14:50(50分)

会場 東京-立教大学池袋キャンパス本館、大阪-大阪府私学教育文化会館

出題 図書中級150問,雑誌初級100問(図書,雑誌ともマークシート方式)

	図書中級 第1回	雑誌初級 第2回	
応募者数	106名	70名	
受験者数	103名 (東京65名・大阪38名)	64名 (東京42名・大阪22名)	
合格者数	44名 (合格率42.7%)	22名(合格率34.4%)	

図書中級 第1回

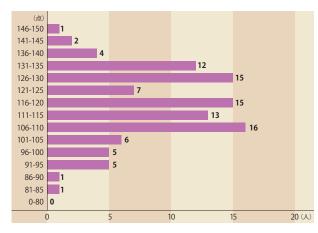
これまで「図書初級」の試験を3度実施してきましたが、今回は「図書中級」の第1回目となります。この図書中級の試験は「図書初級合格」を受験資格としていますが、初級・中級の違いは問題の難易度ではありません。初級は総合目録データベースにおける検索、書誌同定、所蔵登録等に関する知識を、中級は書誌作成に関する知識を問うもので、対象となる"業務"の範囲が異なっていることが最大の相違点です。

● 全体の得点分布

	第1回
最高得点	147点
平均点	117.2 点
得点中央点	117点
標準偏差	13.4

150点満点(1問1点)のうち、最高 得点は147点、平均点は117.2点と、 第1回目ながら非常に高得点の結果 となりました。

今回、合格となったのは120点以上 の方で、わずかに合格点に達しな かった方が多かったことが、全体分 布のグラフから分かります。



● 問題の領域別正答率

領域	第1回	問題数
目録の基礎	78.1%	30
書誌作成・和図書	87.9%	42
総合・和図書	82.7%	18
書誌作成・洋図書	64.8%	40
総合・洋図書	71.9%	20

図書中級でも、図書初級や雑誌初級と同じように5つの領域を設けています。「目録の基礎」は、書誌作成に関する様々な基本事項を問う領域です。そして、各フィールドでとの記述ポイント等を問う「書誌作成」、情報源(図版)をもとに出題を行う「総合」という領域を、和図書・洋図書それぞれについて設けています(和・洋の合計問題数は、どちらも60問となっています)。 洋図書の正答率が、和図書と比べ低い結果となりました。次項にあげる「経験年数」から分かるように、洋図書の書誌作成経験の有無が関係していると考えられます。

■ NACSIS-CAT における書誌作成業務の経験年数

	和図書	洋図書
①なし(主に検索、所蔵登録のみ)	13 (12.6%)	26 (25.2%)
② 1 年未満	9 (8.7%)	7 (6.8%)
③ 2~3年	24 (23.3%)	26 (25.2%)
④ 4~9年	45 (43.7%)	37 (35.9%)
⑤ 10 年以上	12 (11.7%)	7 (6.8%)

和図書・洋図書それぞれの、書誌作成の経験年数を尋ねました。

中級の受験は「初級合格」という条件があったこともあり、書誌作成の経験を概ね2,3年以上積んだ方が多く受験していますが、洋図書については、「①なし」という方も多くなっています。

なおやはり、全体的に経験年数が多いと得点も高いという傾向が見受けられます。

現在の大学図書館は、様々な雇用 形態の人材によって支えられています。 2009年春から2年間に渡って実施して きたIAAL大学図書館実務能力認定試 験の雇用形態別の受験者数は、下記 の表のようになっています。この認定 試験はNACSIS-CATの品質向上をはじ めとする大学図書館のパフォーマンス 向上と、人材育成のための評価システ ムという2つの側面があります。後者 は主に、非正規職員の社会的地位の 向上やインセンティブに繋がることを 目指していますが、前者の実現には雇 用形態の違いによらない、実務の担 い手である職員に幅広く受験してもら うことが必要と考えています。しかし、 専任職員の受験者数が少ないのが現 実です。図書中級は今回が初めての実 施で、まだ統計的に何か分析できる数 値とは言えませんが、専任職員の皆さ まも「評価は 必要ないから」 と割り切らず、 是非この試験 に挑戦してみてください。



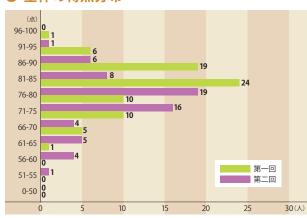
合格者には写真入りの合格証を発行しています(見本)。また、履歴書に IAAL認定試験合格と記入された場合 の記載内容保証の問合せに応じてい

きます。大学図書館業務に関係する様々な人がこの試験に参加し、多くの反応を返してくれることで、よりよい試験に育てていきたいと私たちIAALスタッフは考えています。

各科目の雇用形態別受験者数 () は合格率					
1:正規職員(大学) 2:正規職員(企業)		3:非正規職員	4:その他		
図書初級	第1~3回	55人 (50.9%)	59人 (57.6%)	411人 (43.8%)	37人 (54.1%)
雑誌初級	第1~2回	18人 (72.2%)	17人 (70.6%)	90人 (47.8%)	15人 (40.0%)
図書中級	第1回	13人 (23.1%)	11人 (81.8%)	72人 (38.9%)	7人 (57.1%)

雑誌初級 第2回

● 全体の得点分布



	第1回	第2回
最高得点	97点	91 点
平均点	82.1 点	75.4 点
得点中央点	84点	76.5 点
標準偏差	7.07	8.61

第2回目の結果は、第1回目と比べ全体的 に得点が低くなりました。

80点以上を獲得し「合格」となった方の割合も、第1回目は68.4%だったのに対し、今回は34.4%という結果でした。

● 問題の領域別正答率

領域	第2回	問題数
総合目録の概要	76.0%	30
各レコードの特徴	75.6%	15
検索の仕組みと書誌の同定	71.7%	22
所蔵レコードの記入方法	78.5%	13
総合	76.5%	20

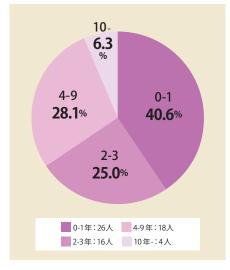
前回と比べ、「総合目録の概要」と「各レコードの特徴」の正答率が低くなっています。

総合目録データベースの基礎知識もしっかり押さえておくことが、高得点に繋がるポイントといえます。

● NACSIS-CAT 雑誌目録 業務の経験年数

前回は雑誌目録業務の経験を4年以上積まれている方が多かったのですが、今回は3年以下の方が多くなっています。

この試験は実務能力を問うものなので、受験者の経験年数が短いことが平均点等が下がった要因の一つと考えられます。



^{※「}雑誌初級」第1回目の結果概要は、IAALニュースレター No.6 (2010.7) に掲載されています。

「総合目録-図書中級」 第1回

問題例集 <抜粋>

1.目録の基礎

図書中級も図書初級と同様に、全体が5つの分野に分か れています。

まずはじめに、和図書・洋図書に共通の、書誌を作成す る際に必要な基礎知識に関する設問群です。おもに『目録 情報の基準』と『目録システムコーディングマニュアル(以 下コーディングマニュアル)』から出題されており、今回は すべて文章の穴埋めで、解答方法は四者択一方式でした。

問16~問21はALフィールドに関する文章ですが、ここ ではその中から問16~問19について紹介します。なお、こ の部分の問題は『目録情報の基準』(4.4著者標目形の管理) から出題されています。

・次の文章を読んで以下の問16~21に答えなさい

【a】のために、ALフィールドを使用する。

目録作業時には、記述対象資料の著者標目に対応する著者名典拠 レコードを作成し、著者名リンクを形成することができる。ただし、 対応する著者名典拠レコードが既に作成されている場合は、リンク

リンク形成を行うとALフィールドには、リンク先著者名典拠レコー ドのレコードIDが表示される他、さらにリンク先著者名典拠レコー ドの【b】が表示される。これによって、【c】が統一されることになる。 リンク形成を行わない場合、『目録情報の基準』8の条項に従いつつ、 ALフィールドに【d】を記録する。

ALフィールドには、必要に応じて、会議の回次等を記録する。 また、【e】の標目であることを示す【f】フラグとしてアステリスク(*) を記録することもできる。

問16

【a】に入る最も適切なものを選びなさい。

- ① 著者の記述
- ② 著者名のヨミの検索
- ③ 著者名典拠コントロール
- ④ 同姓同名著者の生年月日確認

問17

【b】に入る最も適切なものを選びなさい。

- ① 著者
- ② 著者の生年月日
- ③ 著者名のヨミ
- 4 統一標目形

問18

【c】に入る最も適切なものを選びなさい。

- ① 生年月日の表記形
- ③ 著者標目の形
- ④ 著者名のヨミ

問19

【d】に入る最も適切なものを選びなさい。

- 1) 著者
- ② 著者の生年月日
- ③ 著者標目形
- ④ 著者名のヨミ

II. 書誌作成・和図書

次に、和図書の書誌レコードを作成する場合に必要な知 識を問う設問群です。おもに『コーディングマニュアル』の 「第2章 和図書書誌レコード」と『日本目録規則』から出題さ れています。

問35

ある小説がフランス語で刊行された後、英語に翻訳され刊 行された。さらにその後、その英語版を日本語に翻訳した ものが刊行された。この日本語版の図書の書誌について、 ORGLフィールドに入るコードとして最も適切なものを選 びなさい。

- 1 fre
- 2 eng
- 3 jpn
- 4 freeng
- 5 mul

問41

TRフィールドのデータ要素の情報源であるものには①を、 そうでないものは②を、それぞれ選びなさい。 標顥紙裏

||I. 総合・和図書

第3分野は、和図書に関する、より実践的な設問群です。 情報源から各フィールド要素を適切に読み解く力があるか を問うています。実務に携わっている方が多く受験された せいか、全般的に高得点でした。

• 図3-2の図書の書誌を新規に作成することになった。



- 世界思想史の系譜
- ・思想史基礎講座5 倫理学シリーズ2
- ドイツ倫理学の現在

(参考)

• 書誌を新規に作成する場合、図3-2の情報源にある各データのうち、問80~82に挙げる内容をどのフィールドで記述するのが最も適切か、それぞれ選択肢から選びなさい。

問80

「哲学と倫理学のバランス」

- ① VOLフィールド
- ② TRフィールドの本タイトル
- ③ TRフィールドのタイトル関連情報
- ④ PTBLフィールドの親書誌
- ⑤ PTBLフィールドの中位の書誌

問83

図3-2の図書について、PUBフィールドの記述として最も適切なものを選びなさい。

① 東京:思想史学会,2003.5 ② 東京:思想史学会,2004.1 ③ 東京:思想史学会,c2003 ④ 西東京:思想史学会,2003.5 ⑤ 西東京:思想史学会,2004.1

IV. 書誌作成・洋図書

第4分野は、洋図書の書誌レコードを作成する場合に必要な知識を問う設問群です。おもに『コーディングマニュアル』の「第4章 洋図書書誌レコード」と『英米目録規則』(AACR2) から出題されました。

問106

情報源にある "INTRODUCTION A L'ETUDE DU DROIT CIVIL" を本タイトルとする場合、TRフィールドの記述として最も適切なものを選びなさい。

- 1) Introduction a l'etude du droit civil
- 2 Introduction a l'étude du droit civil
- 3 Introduction à l'etude du droit civil
- 4 Introduction à l'étude du droit civil
- 5 Introduction â l'étude du droit civil

問113

情報源にある "by Walter Allen, Michael Slater, A.W. Pollard, G.R. Redgrave" を責任表示とする場合、TRフィールドの責任表示の記述として最も適切なものを選びなさい。

- ① by Walter Allen, Michael Slater, A.W. Pollard, G.R. Redgrave
- ② by Walter Allen, Michael Slater, A.W. Pollard ... [et al.]
- 3 by Walter Allen, Michael Slater, A.W. Pollard [... et al.]
- 4 by Walter Allen ... [et al.]
- 5 by Walter Allen [... et al.]

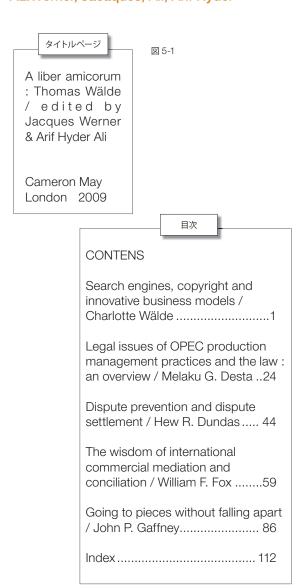
V. 総合・洋図書

最後に、洋図書に関する、より実践的な設問群です。情報源と書誌を見比べて、記述が正しいかどうかを判断する問題などが出題されています。

問131

図5-1の情報源にもとづいたALフィールドの記述として、 最も適切なものを選びなさい。

- 1 AL:Wälde, Thomas
- 2 AL:Werner, Jacaques AL:Ali, Arif Hyder
- 3 AL:Werner, Jacaques AL:Ali, Arif Hyder AL:Wälde, Thomas
- 4 AL:Wälde, Thomas AL:Werner, Jacaques AL:Ali, Arif Hyder
- S AL:Wälde, Thomas AL:Werner, Jacaques, Ali, Arif Hyder



p.4へつづく→

図5-4の図書について、書誌を新規に作成してみたが(書誌5-4)、いくつか修正すべき間違いがある。問134~問141に挙げるフィールドのうち、修正すべき箇所には①を、そのままで良い箇所には②を選びなさい。(ただしリンクフィールドのリンク先は正しいものとする。)

表紙

edited by ABE J. ZAKHEM, DANIEL E. PALMER, AND MARY LYN STOLL

> STAKEHOLDER THEORY

ESSENTIAL READINGS IN ETHICAL LEADERSHIP AND MANAGEMENT

FOREWORD BY NORMAN E. BOWIE

タイトルページ

edited by ABE J. ZAKHEM, DANIEL E. PALMER, AND MARY LYN STOLL

> STAKEHOLDER THEORY

ESSENTIAL READINGS IN ETHICAL LEADERSHIP AND MANAGEMENT

Prometheus Books

59 John Glenn Drive Amherst, New York 14228-2119

タイトルページ裏

Published 2008 by Prometheus Books Copyright c2008 by Abe J. Zakhem

Inquiries should be addressed to

Prometheus Books 59 John Glenn Drive Amherst, New York 14228-2119 Voice: 716-691-0133, ext. 210 FAX: 716-691-0137 WWW.PROMETHEUSBOOKS. COM

12 11 10 09 08 5 4 3 2 1

ページ付け:ix, 275, vi 縦の長さ:23.0センチ 横の幅:17.3センチ

図 5-4

GMD: SMD: YEAR:2008 CNTRY:us TTLL:eng TXTL:eng ORGL: ISSN: NBN: LCCN: NDLCN: REPRO: GPON: OTHN: VOL: ISBN: PRICE: XISBN:

TR:Essential readings in ethical leadership and management / ed. by Abe J. Zakhem ... [et al.] ; foreword by Norman E. Bowie PUB:New York : Prometheus Books , c2008 PHYS:ix, 275, vi p. ; 23 cm VT:CV:ESSENTIAL READINGS IN ETHICAL LEADERSHIP AND MANAGEMENT AL:Zakhem, Abe J. <....>

AL:Zakhem, Abe J. <....>
Al :Bowie Norman F <....>

書誌 5-4

問138

PUBフィールドの出版年

(解答は、10ページをご覧ください。)

「総合目録-雑誌初級」 第2回

問題例集 <抜粋>

○×で解答する二者択一方式です。

1.総合目録の概要

「概要」部分については、おもに国立情報学研究所主催・目録システム講習会テキスト雑誌編(以下『講習会テキスト』)の「1 目録システム概論」、「2 目録情報の基準」および『目録情報の基準』(以下『基準』)の「1 総合目録データベースの概要」、「2 総合目録データベースの構造」から出題されています。

問2

NACSIS-CATの書誌レコードを用いてNACSIS-ILL依頼 レコードを作成できるようになっている。

Ⅱ. 各レコードの特徴

おもに、『講習会テキスト』の「2.目録情報の基準」と、『基準』の「8.著者名典拠レコード」から出題されています。

問44

所蔵レコードの巻次 (HLV)は、書誌レコードのVLYRフィールドに記述された表現形式にあわせる。下記のレコードに対して「平成22年版」を登録する場合、資料に元号及び西暦年が併記されていたとしても、「HLV: 2010」とはしない。

VLYR: 平成3年版 (平3)-

Ⅲ. 検索の仕組みと書誌の同定

検索の仕組みについては、『基準』の「11.3 ヨミの表記及び分かち書き規則」と『目録システム利用マニュアル』の「付録 C インデクス作成仕様」について、又、書誌の同定については、『講習会テキスト』「2.目録情報の基準」の「雑誌書誌レコードの作成単位」についての理解を問うています。

問46

TRフィールドに記述された責任表示は、TITLEKEYの検索対象とはならない。

問52

TRフィールドの本タイトルに「四次元」を持つ資料を検索する場合に、「TITLE=4ジゲン」は正しい検索キーである。

問56

TRフィールドの本タイトルに『東京公害白書』と記述されているレコードを検索する場合に、「TITLE=公害白書」は正しい検索キーである。

問64

手元の資料A(表紙)は、検索結果の書誌レコード(ア)と同定してよい。

農家経済調査報告

1号 平成3年度

農林統計協会刊 農林水産省調査局編

TR: 農家経済調査報告 / 農林水産省調査局編||ノ ウカケイザイチョウサホウコク

VLYR: 平成3年度版 (平

3)-

PUB: 東京:農林水産省調査局, 1992.3-

資料A(表紙)

書誌レコード (ア)

IV. 所蔵レコードの記入方法

『講習会テキスト』「5. 雑誌登録実習」の「2.所蔵データ記 入法」と、「補講1」の内容が理解できているかがポイント となります。

次の枠内の書誌レコードに対して、所蔵巻次(HLV フィールド)の記述方法について正しいものは○、間違っているものは×としなさい。

問75

VLYR: 3. Jahrg., Heft 12 (Dez. 1976)-8. Jahrg., Heft 1 (Jan. 1981) FREQ: m (月刊)

「7. Jahrg., Heft 12」と「8. Jahrg., Heft 1」を所蔵登録する場合は、「HLV: 7(12),8」と記述する。

問79

「HLV: 6()-12()」という所蔵データは、6巻と12巻は欠号のある不完全巻、7巻、8巻、9巻、10巻、11巻は欠号のない完全巻であることを意味する。

V. 総合

「総合」では実際の作業、つまり、手元にある資料で NACSIS-CATを検索し、ヒットした書誌に所蔵登録して良 いかどうかを判断する事を想定して出題されています。

• 図3の雑誌の説明文で、正しい場合は○、間違っている場合は×としなさい。

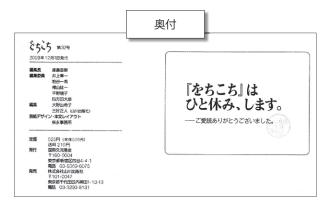
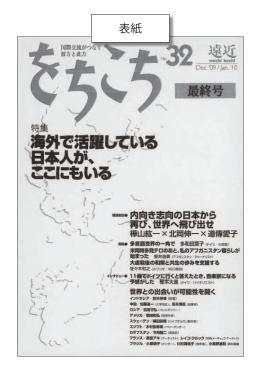


図3



問91

「TITLE= オチコチ」「TITLE= ヲチコチ」は、どちらも図3の雑誌の正しい検索キーである。

問93

「最終号」の情報があり、休刊情報の記事も掲載されているので、図3の号を登録する場合、所蔵レコードに「CONT: +」を記入するのは誤りである。

(解答は、11ページをご覧ください。)



低コストで耐震性をプラス

既存の書棚を簡単に カスタマイズする ブックステーションプラス

本の落下による事故は決して人事ではない。特に地震による棚揺れの書籍落下防止策はどの図書館においても重要な課題となっている。しかし、棚の交換にはコストがかかる。「安く耐震性を備える方法はないのか」。そんな願いから登場したのが棚板を傾斜させるアタッチメント「ブックステーションプラス」だ。生みの親のLCO株式会社とその関係者に話を伺った。

図書館耐震性への懸念そこで誕生したものとは

膨大な数の書架を保持する図書館には、地震によって生じる書籍の落下事故が問題とされてきた。しかし、その膨大な数の書架・書棚を耐震用に交換するには、それ相応のコストがかかる。 — 既存のスチール棚にもっと低コストで耐震性をプラスできないか — ユーザーのそんな一言で生まれたのが「ブックステーションプラス」だ。

「ブックステーションプラス」とは、スチール棚の支柱を利用して、棚を傾斜させるアタッチメントのこと。本品を見る限りでは非常に簡易なものだが、この製品が生み出されるまでにはさまざまな試行錯誤が繰り返された。

開発の発端はLCO株式会社代表の鈴木明彦氏が有限会社ウォーターベル代表の鈴木義輝氏から相談を受けたことから始まった。ウォーターベルが地元の高校の耐震工事を請け負った際に「図書館の書籍落下防止に良いアイディアが欲しいと頼まれた」と。

一級建築士として数多くの住宅の建築をしてきた鈴木 義輝氏だが、図書館については門外漢。そこで、すぐに学 生時代の友人に相談を持ちかけた。それがLCOの鈴木 明彦氏。2人は高校時代から志を共にする朋友。さらに幸 運なことにLCOは、図書館関連業務支援や図書用品を 製作する事業を行っている。話を聞くと、明彦氏はすぐに 解決策を具現化するため、義輝氏を図書館へと案内した。

「ふだんスチール棚を目にしていても、書籍が落下することまでは考えていなかった。書架の構造をきちんと確認す

ることで、落下の危険性をリアルに受け止めることができた」と義輝氏。建築の理論と技術を身につけた義輝氏と 図書館事情に詳しい明彦氏がタッグを組んだ。

LCOがまず最初に製作したのは傾斜型の棚「ブックステーション®」だった。

「少ない予算で無駄を出さず、工事や図書移動を最小限にすることを大前提に考えました。そこで完成したのが棚 自体を傾斜型にしたブックステーションです」と明彦氏。

ところが書架の棚を差し替えるとなると、やはりコストがかさむ。これでは図書館担当者も簡単に「うん」とは額かない。そこで導き出した答えが……「ならば既存の棚板をなにかで傾斜させてはどうだろう」。

既存の棚板を斜めにすればよいのではないか一発想は シンプルだが、そこには誰も着目していなかった。

またたく間にクチコミで広がり すでに導入済みの大学も

書架は図書館によってメーカーが異なる。支柱とつなぐフック部分や棚板の厚さなどがまちまちだが、「ブックステーションプラス」はそのメーカーに応じて支柱、棚板の接続部分をカスタマイズすることができる。メーカーごとに



棚板を傾斜させるアタッチメント「ブックステーションプラス」。フック部分はメーカーに応じてカスタマイズできる。棚板が外れない工夫を施してあるのも特徴的



有限会社ウォーターベルの鈴木義輝氏。自身で開発したステッキ立ての「スタンドアローン」の普及に努めるなど、やさしい社会づくりに貢献する



書棚を前に説明する隨原さん。 トヨタ自動車が設立した豊田工 業大学の図書館には、将来の日 本の産業界を担う学生が集う

カスタマイズできるのは、建築士でもある義輝氏が直接、 開発に関わっているからだ。また工場を持つ知人の好意で、 図書館の書架の数に応じた小ロットのオーダーも可能だ。

こうしたことから、「ブックステーションプラス」は大規模な工事を必要とせず、低コストで気軽に耐震性を備えることができるというわけだ。また、すべての棚を変えることはできなくても、もっとも危ない最上段の棚を傾斜させるだけで、本が落下する危険性はずいぶんと薄れる。

LCOはすぐに実用新案を申請。わずか2ヶ月ほどで認可され、製品はたちまち大学図書館の関係者に広まった。 名古屋市・豊田工業大学総合情報センターで司書を務める隨原聖子さんも図書館について懸案中だった。

「どの大学図書館でもそうでしょうが、利用者の安全を守るため、地震による本の落下を防ぐ安全強化が早急に迫られていました。とはいえ、予算はさほど掛けられない。それで対策を講じるために何社か問い合わせたのですが、どれもコストが合わなかったり、製品自体の使い勝手が悪かったりと、なかなか導入に踏み切れませんでした。棚全体を変える提案もありましたが、そうなると予算もかさみ、さらに既存の棚を廃棄しなければならない。他の製品を探していたところ、館員が他の大学図書館の方から、安価で合理的な耐震性を備えた商品がある、との情報をいただきました。さっそくブックステーションプラスを試してみたところ、使い方が非常に簡単で、なによりも低コストなのが良かった。さらに従来の棚をそのまま利用できるのが気に入りましたね」と随原さんは話す。

平成22年8月、豊田工業大学の図書館では約300棚の最上段に、「ブックステーションプラス」を導入した。

「最上段の棚が傾斜すると、高さが出るので本がスムーズに取れないのではと懸念していましたが、いざ導入してみると、高さが大きく変わった感じはしないし、取り出しにくいこともないですね」

2人の開発者は、「大きなロットを動かすメーカーと肩を並べて同じことはできない。むしろ僕たちのような立場だからこそ、ユーザーが望むアイディア製品を開発できるし、製造することができるのでは」と話す。

ほんの小さなアイディアから生まれたこの製品が、大学 図書館の安全性に先鞭を着けた。 女性社員が多く、アットホームな雰囲気図書館関連業務を行うLCO株式会社。



お知らせ

LCO株式会社は、「ブックステーションプラス」の 導入機関様とのお話し合いの上で、売上金の一部を 東日本大震災義援金として寄託させていただくこと をお願いしております。既に豊田工業大学様・東海 学園大学様より御了承いただいております。

ブックステーションプラスのお問合せ

LCO (エル・シー・オー) 株式会社

メールアドレス:info@lco-w.co.jp

電話:052-652-9870 (担当:鈴木)

上記アドレスに、貴機関名・ご担当者・メールアドレ

ス・お電話番号をお知らせ下さい。

弊社担当が折り返しご連絡させていただきます。



LCO株式会社がオフィスを借りている、愛知学院大学図書館情報センター。図書館ソリューションにも近い環境にある。

「総合目録-図書中級」第1回 正解と解説

>問16

正解:③ 正答率:77.7%

単に著者を記述したり(選択肢①)、著者名のヨミを検索する(選択肢②)だけであればリンクフィールドである必要はありません。また、同姓同名の著者を生年月日で区別することはありますが、その確認のため(選択肢④)にALフィールドを使用するわけではありません。複数の書誌レコードから1つの典拠レコードにリンクして、典拠をコントロールするためにALというリンクフィールドを使用します。

>問17

正解: ④ 正答率: 82.5%

①の「著者が表示される」、というのは文章としてつながりません。 ②の著者の生年月日と③の著者名のヨミも表示されることはありますが、典拠レコードに記入されていない事もありますので、正解とは言えません。

最後に残った④は、全ての典拠レコードをリンクした場合に成立 しますので、こちらが正解です。

>問18

正解:③ 正答率:92.2%

これは正答率も高く、易しかったようです。子書誌に個別に記入するのではなく、リンク先のレコードに記入されている標目が表示されるのですから、標目の形が統一される事になります。

>問19

正解:③ 正答率:68.0%

問18とは逆に、この問19は正答率が低かったです。著者名典拠レコードをリンクしない場合でも、ALフィールドには資料中に表示されている形ではなく、著者標目形を記入します。資料中の表示のままを転記するTRフィールドの責任表示と混同しないようにしましょう。

①の「著者」を記録する、というのは大筋で間違ってはいませんが、 どのように記述するかについては触れられていません。②の著者の 生年月日と④の著者名のヨミは常に記入するわけではありませんの で、③の著者標目形が最も適切と考えられます。

> 問35

正解:② 正答率:69.9%

資料中に原テキストのオリジナルタイトル(この問題ではフランス語タイトル)が表示されていても、訳者あとがきなどに「○○の英語版を翻訳したものである」などと記載されている事があります。その場合はORGLフィールドには、直接翻訳対象となった資料の言語コードを記入する事になりますので注意しましょう。(『コーディングマニュアル』2.1.9 ORGL)

>問41

正解:① 正答率:52.4%

洋図書では『AACR2』により、タイトルページとタイトルページ 裏とでは情報源としての重みが異なりますが、和図書の場合は標題 紙と標題紙裏とは同じ扱いとなります。つまり、標題紙が情報源だ けれども標題紙裏は情報源ではない、というフィールドはありませ ん。(『コーディングマニュアル』2.2.1E〔データ要素の情報源〕)

>問80

正解:② 正答率:98.1%

書誌階層がありそうな情報源の表記を見て、どの部分をどのフィールドに記述するか、という問題です。最下位の書誌単位がどれであるか、最上位はどれか、に注意して情報源を読み解きましょう。(『基準』4.2 記述対象のとらえ方.4.3 記述対象のレコード上での表現方法)

>問83

正解: ④ 正答率: 85.4%

PUBフィールドの出版地の記述の仕方です。間違えた方のほとんどは①東京を選択していました。東京の特別区は「東京」と記入しますが、東京都でも市については市名を記入します。実際の作業においても、東京で発行された図書が大部分なので、「東京」の文字が目に入ったらつい「東京」と記入してしまいがちです。特別区なのか市なのかまで意識して確認するようにしましょう。(『日本目録規則』 2412)

>問 106

正解: 4 正答率: 15.5%

今回の試験で全150問のうち、最も正答率が低かった問題です。 TRフィールドは転記の原則によって、単語を省略したりせずに記述しますが、大文字使用法とアクセント符号付きアルファベットについては、その言語の正書法に基づいて適切な形に修正して記述します。 (『AACR2』1.1B1、A4A、1.0G)

>問113

正解: 4 正答率: 63.1%

同一の役割の責任表示が4人いますので、最初の1名だけを記入し、他は省略します。(『AARC2』1.1F5)

なお、省略した責任表示は、和図書ではNOTE注記に記述するよう『コーディングマニュアル』(2.2.1F3.4)に規定がありますが、洋図書にはその規定はありません。

>問 131

正解:② 正答率:58.3%

記念論文集の被記念者の扱いについての設問です。図の目次を見ると被記念者であるThomas Wäldeの著作は収められていませんので、ALフィールドに記入する事はできません。 (『コーディングマニュアル』 4.3.2H)

>問 138

正解:① 正答率:73.8%

出版年が情報源上に表記されていればそれを出版年として記述し、 出版年が無くて著作権表示年が表示されている場合には、たとえば "c2008"のように記述します。

この問題では、タイトルページ裏に "Published 2008 by Prometheus Books" と表示がありますので、PUBフィールドの出版年は "2008" となります。(『AACR2』1.4F1、1.4F6)

「総合目録ー雑誌初級」第2回 正解と解説

>問2

正解:○ 正答率:84.4%

NACSIS-CATとNACSIS-ILLの両システムは、目録所在情報サービスの中核となるものです。両者は緊密に連携しており、NACSIS-CATで構築した総合目録データベースを利用することで、NACSIS-ILLによる図書館間相互貸借をスムーズに行う事が可能となっています。

> 問 44

正解:○ 正答率:48.4%

問題の書誌のVLYRフィールドには、巻次は「平成3年度」、年月次は「(平3)」と、どちらも元号で記述されています。この場合、所蔵レコードのHLVは、巻次にあわせ元号の数値を採用して「HLV: 22」と登録します。たとえ所蔵している資料には元号と西暦年が併記されていても、元号年を西暦年に変換して登録するのは誤りです。

一方、所蔵レコードのHLYRには、書誌のVLYRフィールドの年次の表現形式には関わらず、常に西暦年に変換した4桁の数字で登録します。

所蔵レコードのHLVとHLYR、書誌レコードのVLYR、この三つをしっかり区別して理解しておきましょう。『講習会テキスト』 5講-2 所蔵データ記入法)

> 問 46

正解:○ 正答率:48.4%

TITLEKEYの検索対象は、TRフィールドとVTフィールドの、①「 \triangle / \triangle 」までの部分と ② ヨミがある場合には「 $\|$ 」以後の部分です。

責任表示はタイトルと同じくTRフィールドに記述されていますが、タイトルとは「 \triangle/\triangle 」で区切られ、かつ「 \triangle/\triangle 」以後に記述されているので、TITLEKEYの検索対象にはなりません。責任表示は、AUTHKEYによって検索します。『目録システム利用マニュアル』 付録C インデクス作成仕様)

> 問 52

正解:× 正答率:54.7%

特に和雑誌の検索に際しては、「目録情報の基準」で定められている「ヨミの表記と分かち書きの規則」を理解している必要があります。「アラビア数字は表示されているとおりをヨミとしますが漢数字は①原則として「一、二、三…」を「イチ、二、サン…」とよみます。②例外として、回次、年次、日付、順序付けを表わしている場合はアラビア数字(1、2、3…)をヨミとします。同じ「四」でも、①「四次元||ヨジゲン」②「第四部||ダイ4ブ」というように使い分けるので、検索の際も注意が必要です。『目録情報の基準』11.3.2)

> 問 56

正解:× 正答率:73.4%

NACSIS-CATには「インデクス検索」という独自の検索の仕組みがあり、日常利用されているインターネット等での「全文検索」とは異なります。

インデクス検索は、書誌レコードから一定の規則に従って作成される検索用インデクスと、入力した検索キーを照合する仕組みになっています。原則としてデリミタ(スペース、句読点等)ごとにキーワードが切り出され正規化されるため、欧文タイトルの場合は概ね単語単位でインデクスが作成されます。しかし「東京公害白書」のように、漢字やカナで表現され、語と語の間にスペースがない和文タイトルの場合はどうでしょうか? この場合は、ヨミの分かち書きを参考にして、インデクスが作成されます。具体的には、「東京公害白書||トウキョウコウガイハクショ」の場合、漢字部分からは「東京」「公害」「白書」「東京公害白書」というインデクスが作成されます。「公害白書」というインデクスは作成されないので、正しい検索キーとはなりません。

(『目録システム利用マニュアル』 付録C インデクス作成仕様)

>問64

正解:× 正答率:65.6%

書誌同定において大切なのは、所蔵している資料に表示されている事柄と、検索結果の書誌データを正しく照合する事です。

(A)の資料のタイトル、責任表示は、(ア)の書誌のTRフィールドの記述と一致していますね。

しかし、(A)には出版者が「農林統計協会」と表示されていますが、(ア)の書誌のPUBフィールドの記述は違っています。巻次・年月次も(A)では「1号 平成3年度」とあるのに対し、(ア)の書誌のVLYRフィールドの記述は若干違っています。

慎重に両者を比較してみると、同じ時期に、別々の出版者から並行して出版されている雑誌と考えられ、同定することはできません。 (『講習会テキスト』 2講 2-5(7))

>問75

正解:○ 正答率:39.1%

所蔵登録をする場合、巻レベル号レベルの2階層を持つ所蔵データについては、「完全巻か不完全巻か」の判断が必要です。「月刊なら1号~12号揃っているのが完全巻」と考えがちですが、それだけではありません。この問題の場合、書誌のVLYRの記述から、8. Jahrg.はHeft 1しか存在しないという事がわかります。つまり8. Jahrg.はHeft 1の一冊だけで「完全巻」を所蔵している事になるので、「HLV:7(12),8」と記述するのが正しい登録方法です。

このように、VLYRの初号・終号の記述や、FREQ(刊行頻度)、NOTE(刊行頻度変更の注記)等、書誌の内容もよく確認し、完全巻として登録すべきか不完全巻とすべきかを判断して所蔵登録をすることが重要です。(『講習会テキスト』5講2-4)

> 問 79

正解:× 正答率:64.1%

不完全巻の記述には ① 6(1-4,8)のように () 内に号レベルの数字を書く方法と ② 6(0のように空白とする方法があります。

②の方法に限り、連続して不完全巻だけで所蔵している部分を60-120のようにハイフンで結ぶ事ができます。間の7巻~11巻は、それぞれが全部、欠号のある不完全巻という意味になります。(『講習会テキスト』5講2-4)

>問91

正解:○ 正答率:50.0%

図を見ると、表紙に「をちこち」とあるので、タイトルで検索するなら「TITLE=をちこち」となります。また、このヨミとして「オチコチ」が付与されるので、「TITLE=オチコチ」でも検索が可能です。ヨミは『目録情報の基準』で示されている通り、日本目録規則の片かな表記法(標目付則1.1.1)に則り、旧かなづかいは現代語音によって表記される、という点がポイントになります。

更に、「カタカナ⇔ひらがな」のどちらで検索しても良いという「検索キーの自由度」があるので、「TITLE=ヲチコチ」「TITLE=おちこち」でも検索が可能です。(『目録システム利用マニュアル』2.7.1)

>問93

正解:○ 正答率:85.9%

「CONT: +」は、今後もその雑誌を継続して受け入れる予定がある場合に記入します。この場合は、最終号を登録し、今後の受入予定がないので「CONT: +」を記入するのは誤りです。(『講習会テキスト』5講2-6)

大学図書館における 受託業務の高度化に向けて

=「大学図書館業務実務能力認定試験」 受験の取組み =

株式会社クレオテック

ライブラリーサービス部長 塩見治子

当社が、大学図書館支援機構の「大学図書館業務 実務能力認定試験」(以下、「認定試験」という)の 受験をスタッフに推奨したきっかけは、2009年に、 直接大学図書館支援機構よりご案内を頂いたことに 始まる。認定試験の目的・効果について伺い、この 試験を当社の業務水準を客観的に示す指標の一つと して活用し、併せてスタッフのモチベーションも高 めることができると考え、直ぐに当社常務会に提案 し、了解を得た。

認定試験の目的である、「全国どこの大学図書館でも業務上通用する共通実務の面から、客観的な評価を行い、(中略)各人の能力が証明されるシステムの構築」は、これまで大学図書館業務を受託する企業として、客観的に提示できなかった部分を可能にすることに繋がると確信している。また、期待する効果として示されている(1)業務内容習熟および業務能力の向上、(2)採用側の評価基準、この2点に関してもスタッフが自信を持って仕事に励み、成果を上げることや、採用する際の重要な基準に成り得ると考えている。

1. 当社図書館受託業務の状況

株式会社クレオテックは、学校法人立命館の100%出資会社で、学園の教育・研究活動を支援する目的で設立され、現在教育・研究支援を始めとし、キャンパス環境管理、学生生活支援等様々な事業を展開している。その教育・研究支援事業の一環として、1996年度より図書館の業務を受託している。

開始当初は、業務の一部のみを受託していた。その間、大学で図書館業務委託化の計画が進められたが、2005年度に、大幅な改革が実施されたことに

伴い、図書館業務のほぼ全領域を受託することになった。この中には、多くの大学で専任職員が担当されているレファレンス業務や情報リテラシー教育も含まれている。

2011年度からは、立命館大学3キャンパス(京都市内2、滋賀県草津市1)と、立命館アジア太平洋大学の図書館のほぼ全業務を受託することになり、責任の重さを痛感している。その責任を果たすために、学園の方針、図書館の動向を充分に把握し、充実したサポートができるよう統一的で高レベルの業務運営を実施することが必要である。また、そうすることで信頼関係を築くことができ、継続的な業務運営が可能になると考えている。

2. 認定試験への取組み

発展的に業務を運営するためには、これら業務に 従事するスタッフ全員が、学園や学生の成長に貢献 するという考えに立ち、業務に対する意識や専門知 識を高めることがなにより重要である。このことは、 図書館業務を運営するうえで、最重要課題であると 考え、以前より各種研修への参加や、勉強会の実施 等の取組みを行なってきているが、この認定試験の 受験も、その一部として大変有意義であると考えて いる。

その理由の第一は、客観的評価ができるということである。スタッフは、日々質の高い業務内容を提供することを心がけているが、そのレベルがどの程度なのか、今まで評価する指標がなかった。しかし、この認定試験を受験することで、他と比較して自身の能力がどの程度なのかを把握することができ、日々の業務を客観的に評価されることは励みにもつ

ながる。また、この結果を通して大学やその他外部 機関に対して評価の材料を提供することができる。

第二に、いうまでもなく、専門知識の向上ができるということである。認定試験を受験するにあたり、スタッフは、担当業務の能力を評価されるということもあり、かなり熱心に事前学習に取り組んだ。そのことで通常業務では確認しないことも学習でき、知識の幅が広がった。

第三に、スタッフのモチベーションが高くなるということである。自身の能力が、業務の知識というだけでなく、技能として認定される。事前準備から受験まで取り組み、その結果を得ることで、現在のレベルを認識し今後更に知識を高めていきたいという気持ちを持つことができる。

スタッフたちは、最初は、会社の取組みとして受験したが、2回目からは自身の希望で受験しており、意欲が高まっている。他の業務担当のスタッフから、自身の業務の認定試験は実施されないのか、といった質問もあった。

大学図書館では、ラーニングコモンズを構築する 取り組みなど従来にない教育活動が展開されようと している。当社の業務も大学図書館の日常運営をす



るというレベルを超えて、学園と図書館の様々な取 組みに対応していく必要があると考えている。

それには、スタッフの育成は不可欠であり、この 認定試験を一つの目標材料として位置づけ、取り組 んでいく計画である。

2009年度より、「総合目録-図書初級」「総合目録-雑誌初級」、2010年度より「総合目録-図書中級」が実施され、受験に取り組んできた。この認定試験がこれからも継続して実施されることにより、大学図書館関連機関で認識が高まり、図書館業務の評価基準として、広く定着することを期待している。

今後は、図書目録、雑誌だけでなく、レファレン ス等他の図書館業務での認定試験も実施していただ くことを希望する。

前回までの受験結果と受験者の感想

以下に、前回までの受験結果と、受験者の感想を掲載する。この受験者は、「総合目録-図書初級」第3回と「総合目録-図書中級」第1回で、全体の最高得点を獲得することができた。

一連の認定試験で、それぞれ好結果を得られたことは、 日々積極的に業務に取り組んでいる結果であると、嬉しく 思っている。今後も能力の向上を目指し、努力していきたい。

2009/11/15			
総合目録-図書初級 第2回	14 名受験 13名合格 全体平均76.4点 当社平均86.8点 (90点以上5名、1名最高得点)		
2010/5/16			
総合目録-図書初級 第3回	2名受験 合格 (1名最高得点)		
2010/11/7			
総合目録-図書中級 第1回	1名受験 合格(最高得点)		
総合目録-雑誌初級 第2回	6名受験 4名合格 全体平均75.4点 当社平均82.3点 (86点以上3名)		

受験者感想

中村 友美 [「総合目録-図書初級」・「総合目録-図書中級」合格]

昨年実施された、「総合目録-図書初級」第3回と「総合目録-図書中級」第1回の認定試験を受験し合格することができた。合格は目録業務を続けていく上で励みとなったが、認定試験結果だけではなく受験勉強そのものが、自分自身の能力を客観的に理解し、自身のスキルアップを図る良い機会になったと感じている。

受験勉強の際に目録規則やコーディングマニュアルに じっくりと腰をすえて接することで、自分が曖昧に把握 していた事柄に気付き、弱点を補強することができた。 また、受験勉強を通じて生じた疑問点について、職場の先輩方に意見を伺い、多種多様な資料に接して来た人たちならではの回答を聴いて、目録業務を行う上で必要な思考回路のようなものに触れることができた。このことが、経験の浅い私にとって大きな財産となった。

実際の認定試験では、予想外の分野からの出題に遭遇し非常に焦ったが、準備不足だった分野は今後の課題と捉え、この度の受験での経験を今後の業務に繋げていきたいと思っている。

東アジア図書館協議会へのお誘い

ピッツバーグ大学東アジア図書館 **グッド長橋広行**

東アジア図書館協議会(以下CEAL)の年次会議が、3月29-30日にハワイのホノルルで開かれる。丁度このニュースレターが皆さんのお手元に届くころ、常夏のハワイのビーチに背を向けて、冷房のやや効き過ぎたハワイ・コンベンションセンターで、私たちは朝から晩までパネルディスカッションやワークショップに参加していることになる。

今年のCEALの目玉は、なん と言っても今回始めて中国、日本、 韓国の資料委員会が合同で開催 するパネルディスカッションだろ う。第1部前半では中日韓の国立 図書館の担当者を招き、昨年8月 に締結された「中日韓電子図書館 イニシアティブ協定」に基づく3 カ国のデジタル連携の構想を紹介 していただき、後半は日韓の国立 図書館に加えて台湾中央研究所 の担当者を招き、中日韓の地域研 究資料共有の展望を語っていただ く。さらに第2部ではミネソタ大学 の東アジア図書館長に、中日韓す べての研究資料をひとりで担当す る東アジア研究ライブラリアン2名 と、中日韓の教科書を研究してい る図書館情報学教授を交え、ボー ダークロッシングな蔵書構築と管 理を議論してもらう。東アジア研 究の将来を考えるために、見逃せないセッションになりそうだ。

研究者とライブラリアンたちが 集まり、オリエンタル・コレクショ ン全国委員会を非公式に結成した のは1948年のことだった。翌1949 年には極東学会(アジア学会の前 身)と米国議会図書館(以下LC) の後援のもと、オリエンタル・コ レクション合同委員会が公式に結 成された。当時の関心は資料の収 集とカタログ、そして人材教育だ った。なかでもカタログルールの 全国基準の作成は急務を要してい た。LCはオリエンタルカード複製 プロジェクトを立ち上げ、アメリカ 図書館協会(以下ALA)はオリエ ンタル資料カタログ特別委員会を 結成、1945年から共同で全国基 準の作成に取り掛かった。1958年 にLCとALAが作成した全国基 準が完成、中日韓語のローマ字化 マニュアルも発表された。東アジ ア研究ライブラリアンたちは、全 国規模での資料収集と書誌情報 のコントロールを次の目標に掲げ、 CEALの前身である極東研究資 料米国図書館委員会(CALRF E) をアジア学会(以下AAS) の 小委員会として同1958年に結成し たのである。

CEAL年次会議は、北米を中

心にヨーロッパや日本、中国、韓 国からもライブラリアンや図書館 情報研究者、出版社や図書館関 連業者たちが一同に会し、情報交 換とネットワーキングのできる年に 1度のイベントなので、期間中は 朝8時から夜11時までスケジュー ルが一杯だ。それに加え北米日本 研究資料調整協議会(NCC)や 社史グループ、日本貴重書小委員 会などが主催するワークショップ や勉強会が中韓も合わせて10以上 がCEALの前後に開かれる。さ らにその合間を縫って、各委員会 の運営委員会や小委員会の打ち 合わせが、朝食や昼食を囲みなが ら行なわれる。CEALの翌日3月 31日から4月3日の4日間はAAS の本会議で、世界中から集まるあ らゆる分野のアジア研究者たちが 765のパネルに別れて研究成果を 発表する。

まさに眼の回るような忙しさだが、この会議に参加するとアメリカの大学図書館界、特に東アジア図書館・コレクションの最新トレンドが分かり、世界のアジア研究で何がいまホットなのかも手に取るように分かる。毎年3月末の開催で、日本の図書館関係者は日程調整が難しいとおっしゃるが、たくさんの教授や大学院生、少数のライブラリアンの方たちはいらしている。皆さんもなんとか時間をやりくりしてぜひ参加して下さい。



[CEAL] http://www.eastasianlib.org/ [AAS] http://www.asian-studies.org/

カタロガー

ふだん新刊図書の目録を採っている方の中には、そろそろ和漢古書の目録が採 れるようになりたいが、身近に相談できる人もいないし、どう勉強して良いかわから ない、という方もいらっしゃるのではないでしょうか。そんな方にまず読んで頂きたい のが堀川貴司著『書誌学入門』(2010.3、勉誠出版)です。

これまでにも、廣庭基介ほか著『日本書誌学を学ぶ人のために』(1998.5、世 界思想社)や中野三敏著『江戸の板本』(1995.12、2010.12再刊、岩波書店) など、和漢古書についてわかりやすく解説された本はあったのですが、この『書誌 学入門』は実務で目録を採ろうとする私たちに必要な知識がぎっしり詰まっています。 この本でまず目に付くのが巻頭の図版です。たった4ページですが表紙の文様の カラー写真があります。この図版ページの縁には色見本が付いており、縁にあるの で現物と重ね合わせて確認することができます。

本文は振り仮名が多いです。本の部位や部分の名前など、難しそうな漢字にこと ごとくルビが付いていますので、和漢古書の知識が無い方がまず読むのに最適です。 「第一部 古典籍を見る (実践編)」にも、写真が多く掲載されています。装丁、 綴じ方、場所により異なる題、匡郭、版心、等々。やはり写真で見ると断然わかり やすいです。後半では「第二部 古典籍を知る(知識編)」として、和漢古書の背景 にある基礎知識を学ぶ事ができます。紙の解説や出版の歴史などです。第三部は「古 典籍を読む(応用編)」です。

巻末の参考文献も10ページにわたる大変充実したものです。ただ、漢籍につい て魏隠儒ほか著『漢籍版本のてびき』(1987.6、東方書店)が挙がっていないの は何か理由があるのでしょうか。著者が意図的に除外したのであれば文字通りの蛇 足になってしまいますが、興味のある方はこちらも参考にされると良いと思います。

なお、新しいとはいえ本書が刊行されてから1年が経ってしまいました。その後に 刊行されたものとしては慶應義塾大学附属研究所斯道文庫編『図説書誌学』 (2010.12、勉誠出版)や鈴木俊幸著『江戸の本づくし: 黄表紙で読む江戸の出 版事情』(2011.1、平凡社新書)があります。前者は斯道文庫の所蔵資料のカラー 図版と解説です。後者は山東京伝の『御存商売物』を微に入り細を穿ちして解説 したものですが、登場人物が黄表紙や赤本・黒本ですので、この黄表紙の解説を 読むことによって江戸時代の書物や出版事情を知る事ができるという、素晴らしい 趣向です。また、すでに基礎知識がある方には、高橋智著『書誌学のすすめ: 中 国の愛書文化に学ぶ』(2010.9、東方書店)が書物に対する想いをかき立ててくれ ることでしょう。

もとよりNACSIS-CATでの書誌作成のマニュアルではありませんので、『日本目録 規則』や「コーディングマニュアル(和漢古書に関する抜粋集)」も修得しなければ なりませんが、まずは基礎的な知識を得るために、この『書誌学入門』を読んでみ てはいかがでしょうか。

(IAAL事務局:K生)



試して見ませんか?あなたの"目録力"

IAAL大学図書館業務実務能力認定試験

「総合目録一図書初級」第4回 「総合目録ー雑誌初級」第3回

【日時】2011年6月5日(日) 【集合時間】13:40

受験案内

(1) 受験資格:初級は、受験資格の制限はありません。

(2) 受験料 : 図書初級【一般 3,000 円 IAAL 会員 2,000 円】

雑誌初級【一般 3,000円 IAAL 会員 2,000円】

(3) 受付期間:2011年4月1日(金) から

2011年 5月15日(日) まで(当日消印有効)

*図書初級と雑誌初級を同時に受験することは出来ません。

*詳しくは、当機構ホーム ページをご覧ください。 http://www.iaal.jp/

東京会場

立教大学 池袋キャンパス 4号館 3F

〒171-8501 東京都豊島区 3-34-1



http://www.rikkyo.ac.jp/

アクセス

JR 山手線・埼京線・高崎線・東北本線・東武東上線 西武池袋線・地下鉄丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」 下車。西口より徒歩約7分。

名古屋会場

ウィンク愛知 愛知県産業労働センター

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-4-38



http://www.winc-aichi.jp/access/

0000000000000000

アクセス

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅より徒歩約2分

今後の認定試験実施予定

2011年 秋季

「総合目録ー図書中級」第2回「総合目録ー雑誌初級」第4回

①東京会場②大阪会場の2ヶ所で同時開催の予定。

10862125(01)

プライバシーマークを 取得しました

2010年12月17日 当機構は、 財団法人日本情報処理開発協 会よりプライバシーマーク認定 団体として認められました。 図書整理支援業務 多言語、特殊資料の 遡及入力に お困りではありませんか?



IAALでは、高度な図書整理業務を支援する事業を行っております。蔵書の遡及入力についてご検討される際は、是非IAALにご連絡ください。

E-mail: info@iaal.jp

> COVER story



桜前線の北上と共に様々な支援物資も被災地の皆様へ届きますように。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。